

人と進んで関わる — 望ましい習慣の形成 ③ —

人と関わる喜びの体験

○ 人と進んで関わろうとする態度を育む上で、**子ども自身が人と関わる喜びや価値を、体験を通して実感することは極めて重要です。**

○ 次に挙げるような**喜びを伴う体験を、より多く積み重ねたい**ものです。

- ▶ 友達との意見交換や校外学習等におけるインタビューを通して、自分の考えを広げ深めたり、新たな知識を得たりする。
- ▶ 不安や悩みを抱えている際、家族や友達等に相談することで、気持ちが和らぐ。
- ▶ ものの見方や考え方が異なる友達との交流を通して、それまで気付かなかった互いの共通点や相手のよさに気付く。
- ▶ 学校行事等で友達と知恵を出し合い、互いに役割を果たして協力し合うことで、当初の目標を達成し、成就感を得る、など。



希望

神学者・司祭・牧師／マルティン・ルター

この世を動かす力は、希望である。やがて成長して果実が得られるという希望がなければ、農夫は畑に種をまかない。利益が得られるという希望がなければ、商人は商売に取り掛からない。

出典：「賢人たちに学ぶ 道をひらく言葉」 本田季伸著（かんき出版）

※ 授業では「身に付く力とその価値が分かる」ことが希望に相当し、学ぶ意欲の促進につながります。